に設定)がし属す)時四十五分散質した「浸軽は第二次四相資献=中央の二人は陸海平南次官」に設定)がし属す)時四十五分散質した(一)右護闘の目前は經濟診謀本部としての機能を十分に取入れること。 共門限促出職、中央行政制度改革問題に願する領討に移り組々協議をとげた結果 四相會議開かる 省の廢合は更に調査研究すること(一)回策統合股關は本年度内に設置し内閣に武廳せしめること(一)右に関する 中央行政改革の第一着手 【実別設計】第三天四相解議は十六日午期十時職相皆邸に随館、馬里、即田、

ミ情報部合併

【】 | 「一十六日の第二次四和密議で本年度内に内閣直屬の國際教会に顧を設定する方針と決定しこれが其優化の方法に願しても記述。「「「「「「「「」」」 織決定次第右に関する官制を樞密院に御語詢奏請の手續を執り經費は本年度追加豫算に右の其層化點憶度を正開しては直ちに四盟長官をして調整察せる四程度の連に附して正式に決定すること【一】組 の綜合計畫樹立統制に當らしめること「11石廣屬の組織は頭質の權威者を翻世登風制度を取ける」と「11公司」と「21公司」と「21公司」と「21公司」と「21公司」と「21公司」と「22公司」と「22公司 (22公司)と「22公司」と 現在内閣に所属する調査局、本の変換を行ったがその大綱は左の如くである 上して本年度内に之が實施を圖ること **予源局、統計局並に情報委員會を包括して閣内に一大國** は 地級は関に他ばれ、列車通過ですた 地級は関に他ばれ、列車通過できた 地級は関に他ばれ、列車通過できた 職のため支配自労働院第二上兩三職く不規則とたつて東二、原学保 日中に開始されると傾向する

満洲移民型復活に

減難色あ

經濟参謀本部の機能も付與

任有機關は何、紀元地より保証の大利などに關しては刑罪立義の期に踏るが特に豫禁局の類き機能は設けずまた八事局なども包含せ

【果、糸の語』行機機構改革に作ふ一致つた意見はたかつたが反對意思 開しては四相は相管強いので結論を得るまでに 相設置決せず 内部総理大臣の旅艇を強化することはれた結果原則として首相の撤退 てゐる、また現行内回動度を改めしも取上げられ個本意見の変換が行 めることくしたが重要領域の要額 要求推算の査定内示を受けたので【東京直話】配粉省は十五日復活 として拓積省が全的に推進 十大日省議を開きこれが規語を選手毛、音が開発に働する經費、関手百萬年移成の大部領が初年度に

曹操において刺智異説があり何節。はなほ戯めの沪隆曲部が後継され、とについては十六十つ四と読証に、遺俗の響あっことが承認されたが、てゐる龍融材度互帰に馳する版施

米の東亞進攻に 對應策を講

口火となつたそ、ウ兩島の武装

料館職は資本金=個国職経=映画「を破験せしめてみたが、京憲、忠」の戦況について譲る選する貨輸決定した、囲も質園器|に分けて発酵の器科護異情報語路|は去る十四月間により

本府監督振興神では金融間を登班上北南道を建築中であった山本党師

は去る十四日間低したが振興以動

既可振興の指導者は質に不眠不

振興課技師の視察談

三千圓以上に

免税點引上げ

相續税中の保険金

初年度が公一十二百五十万国、二十百年度の帝國際科工業節は(社)

小鹰二千五百英国、三年度二千二

五十四国に配てはこれを全部派

和に撤職を行び商工省が要求さる総省も明年度繁発金にはり優先

農村振興運動 指導强化の要

| 政府が重要国策として決定した | たる低温 | 設備分成、ガソリン、| 東京界豊昭 | 國防と酢薬喘立を期 | 以て展開における人造行曲下薬を

以て屋間における人造行曲工業を一旦被門を聞き屋校職職等に住室

九日午後、時かから析が際に発に

大然科関派の方針についても大。有談単化工業を明和十八年度底に「他の打合せを行ふ」の配方证拠関派として決定した。 たち低道 影響合成、ガソリン、「を形式に赤假方証三部に発滅す

我が東京は、汗海の圏内にあり型にそれより西重視してゐる、即セッドウェー駅より重視してゐる、即セッドウェー駅より成する曉には我域は直接大なる 南方に削逃せるウエーグ島に根據地を建設する 無條約太平洋波高 洋原はへの距離は近と一、三百温であり帝國施 になる。いである、而してウニーク島より我が南

に公車債機地 全建設すると同時に既に一歩を進 にあり選攻作無の重要機数たるミッドウエー島 のであり選攻作無の重要機数たるミッドウエー島 めて我が委任総治師たる南洋、小田町のウェー

によってアメリカ党軍は東亞地域への第一般た時は千二百四の近きまでに日本に落近し、それ る現在のハワイより一千垣以上を削逃すること 9日米の太平洋防備施設强化擴 り日米の太平洋防備制限係項が失効となる明年防備制限係項が失効となる明年 が計算報を調ぎること、太平洋が計算報を調ぎることとなるべく、太平洋

保険金額が遺族の生活施設と見られる

右計畫を實行しこの根據地が完 無條約狀態に入るやアメリカがするワシントンよりの報道に大なる刺激を受け ッ島に百更州を投じて卒軍根據地を築造せんと

> 近の強烈を試み平和主の強烈を試み平和主 モネー氏の飲服的管館 いて左の如き、塩 力なき不和論 壽府において再び努力せん ブ佛首相の演説

聞国と共に外交部に中間最出をな

高州里十五日同盟」 **河州里首沿** の別式の代表局的企及び語田飲品画

満洲國爾代表新京へ

すべく十四日福川里麓新京に同つ

近繼至大郎

造ひながらそれと知らせた。

いたまでもやっと

同じ際化のお詫だつた。

相称合鑑家參謀技術的合鑑家參謀技術的合鑑家參謀技

軍令部出任軍海軍當出仕

ひそめた

部を振った ある、平和にはまた は平和のため必要で は平和のため必要で めて制裁規定を設めし室に失敗を喫した、社管主義が必要である、帰職は削立り来勤

特 捕

は、はいい

おころはどぎまぎしたがら振り

つきつと、それに相違ないかでの

ではい。例かけて問題ひはござい

半島明年度の土建大繁忙

創室研究するとに急遽一致を見たこれが具備格問題については更に

「北平十五日同盟」不級出級八年

平級線運轉混亂

電工事、羅津、清津、城津の都市計畫の實施、の工事最盛期に入りいれに長津、富寧の雨水を來存解水期ご共に北鮮では滅浦、豊端兩線と就經營、來年度の不足はグンと增加、十萬人と就經營、來年度の不足はグンと增加、十萬人 てある、本府は智識がこれ等の土、発薬に発験した勢働者は約五千 北郎の土建界は福温に福温を重ね、本年度は約七千

> 本材化物語ではこれに対する駆逐射銃の戦争に関心してあるが各の本材化物語では、一日平均二十五県人の勢動物が必要とする既認にあり、縦正軍、流域性発導あり、縦がで変に一攫五、六子県国の土建豊か れに伴ふ國際道路の開設等々あり、層等は中央會等の特殊工事、國際四橋梁の工事着手、こ に送ることとなるべく各種質量を並てきるる 市セプラーとしてみるハンベンも帰郷に収容してこれ等

百萬回の復請に対し行での承報が 間様に帝國路納磨組法により組織行に限日をおくものとして日報と 特殊資配として検集の開始なる途 の石油を産出せしめるでう戦場的自然場を確し、合い、自然場を に動成脈に統制を行い燃料的配は ◆本下党氏(明水台土地經營、同 坂の豫定 場の豫定

である。 され民が後間燃料順立は質にかか らの副僚と大郎省も各省但加豫星つては新然一の活動に使わればな

泉城府第二、二部製育部団では十 天地玄黄

ないものと、思び前めたのであっ るそのまる行場龍の際にある森

おころは心も難と思した。

京城后教育部會

| 機能に駆する。最大と会社に干五 たものと思いれてゐる| | 建筑、南水が以及び飛船事業指導。も設びすとなして繋末するに若つ

て大い質句に華色あり従って開花。あるとしても議院に對する、一十ケ

西石土成園に對し版のとし

動搖する百萬戶移住計畫

質行の謎かりし ラギオで國語が及、何ぞそれ 山にけくばせを残して、おほとお

名。影響り六百萬国もほしいと 八十萬日起っずの紀は日間で にあたふたと門内へ最入って行っ一「途中部り返ばなりませぬぞ」

はいの

「無難さけきやこ」

た森山は、ひそかに

一人の話を切削の

の鑑け聞いてる

、中門の婦へ正著

でくと、そこから

おもてへ飛び出

施設は認識で振ふなんて云はれ 区間航年大飛躍とは盛が聶海子。で待つてみた余村は、おころの近 を作った成成歌歌歌公が、放戦 『話かあ』 遊戯作歌聖動を起させる動図 『はいっ』 つた。 行くのを見ると、 「おいかつき 巡廊の下で、じり/ \した過毒

『語がある。 もそりとこつちい岩 「そなた、まさかこの菜村に与を

総紙提起のため鑑直制度の部 値かせはすまいのち。 「下谷の質家でございます。」 たへ続つて、和向に おを頼して一般にお ざかならねえど 字はたんまりが照か よく云つたぞっ てしめた。存ては海路の日和とは れでまた社の 火るし、お

「きつと、それに相違ないから 折り通りかりつた計製量をあわて山を菓子へ駐けほりた森山は、 れずおれば小道底に有り行からと 門しろーッ定り 知しせておか

1 を1 時参謀投 開東介部出作、乗貨車省出化 佐世保護都等長 信履 資本定期景動に走立つ兵動は十六 日前をもつて左の加く競争された 報合艦隊参謀長 業第一艦隊参謀長 【京京直記】十二月一日別都分 海軍異動 海城少将 野村 真形

待ち下さい

俱樂部 ^調

發賣

モッコ 世

「おつとやつて来るばら」 上证

二作 B;

たおころの耳へ、霧山はなかば配」お任時の側が脳を しまひたい心球で一般になってる。せはすまいと調われのは、よるやそれでもまだこの型から逃れて、「わらばが、今そなたに鮮を極か とてれない

二つ贈呈の大率仕!大驚發!定信五十銭で、次の特別附録

成美石の上をあたふたと難けて来たの「一つが相なことでこざいます。 霧山は逆でも石燈篭の甌へ母を一には、域多にお言葉さへかけては 摩擦は、わたくし髪のやるな器更一つ越相なことでございます。お住 な願いを呼べて質けませら。」 下さいませれくらあのお方、何ん そのやうな大き

详和 民服 月用

いた新流行品でる!!

だらお一人でお待ちなずつてあら | てもよろしいので

でも大量ぎの御稿子、組配の下に

「わたくしが、

人でまるりまし

こざいますから

『直くに呼んで来るやうにと、大|整治に直接ると像へてくりや』

命院へ行つて、間もなくわらはが

ではそなだ。これから直ぐに延

「日那様が、お召し合ございます

まない。」

0 0 0

目で分るが那難に吸やて順いです 豐義

したい方、起い子に、丈夫な子に高てに之から融さん方はゼと御歌下さい! 過におに之から融さんになられる方も、既におに之から融さんになられる方も、既においたがらいるがものです!! 育児の往島中が親を教へたったに育児の往島中の薫兵先生 御指と今が竹内薫兵先生 御指と い便利、重要の名案別録! 蕭兵先生 御指導

た大響殺!誰方を完成的は「婦人の襲節」がお得です。然も定價は平月號通りの五十錢!實に思ひ切っ然子孫用謝都有「山田郡芸會」を始め会部ず、既作小忠等前載

此外

既にお

ますっこ 森山の傍へ着

「へん、有難ら你じ 「これ籍祖属。 谷中王で大島ぎむ

「おころ。そなた、わらはを目にす

英伊の地中海公園協定は御部一権かな野。そなたが宿下りとおい も、もはやちやんと知れてゐるの一けられた。 やつて、昨夜延命险へ泊つたこと る者ぢゃな。柔材の眼はまだく

合の宜しいぞうにといふところ

株で江戸朝心に指導してあるが 選ばは之れに對し期谷に希談の 福に以交けられたので、今後は 第一線である歌、四、詞の指導 をより以上に護原立らしめ養成 直鏡に斜を排たしめる様が法を 調じたいと思つてある せたのは蘇蘇自身でないか 特に疑惑に禁止する提供も是正常を是正、悪しとはいはの,同 三國際の登場、蘇聯が知くの しかし斯ら渡し合む

○ ◆山田版島線道局長 金剛丸原統 技術のため十六日『のぞみ』で 技術のため十六日『のぞみ』で 大球線道面を訪問、唇鮮ホテル に投稿、十七日『のぞみ』で演 新に向ふ客

問題はスエス国河ばかり

日時、其他詳細追つて發表

周列和はトラクタに親上は御融心(の御絵の船棚を焼破したは斑鳩、龍に矛田葡鹿舞院に取締)ま、連着しないので、上三碑騒がは建場、竜の一角の一角の一角の一角の一角の一角の一角の一角の一角の一角の一角の一角の

目下の鮮産三萬箱の處

どつと大萬箱から

はお漢次門市場の傍で自河夜井を「月髭めて無き本町器に往込んだ城三諸町から帰宅の途中観摩に襲」牛嶋がそつくり繆まれてみるのを集出を撫いて十六日早期・睦邱京「洲ぐ中に一寸様になり命の次ぎの

ちずれて悪の道に入り、象年間編 3りの採は南班の出であつたが番

業病に取つかれたものもあるとい

よ歌るべきもので日下取嗣へ中で

方 止消原城

死 家出 二四折田軍郵便局員 東城東金町

たま、齢宅セず折出氏方では心配であると十四日具と君の第に自身にあいてある。北四日具と君の第に自動と、郷田の郡水公智に動いてする。 近人で来たので向氏は違いて十六、込んで来たので向氏に違いて十六、

京マ

十二三歳の少年ルンペン、あ

一まりかへつてゐたもので、少年建

の注文殺

脚賊を撃滅

女ではないが男でもない

ロヴアキア亜州選手ゼムカ・クー側の女から男に歌画のチエツコス ニューヨークからの通信によると一浴びてゐたが「彼氏」は虚論様び カチノに出演してツガナイ減さを「底層船の財命は正丁されるで辞 複米、ニューヨータのフレンチ・

新水町の火事 煙草の火から

酸の扱いは光香二十七の他

人的が左限に駆倒を買ふた外接

間需多数を出した、我が方は小

行油脈に産革の火を済して燃えつて貼に置いてあつた量り買り用の

賊の死者士、負傷多数

小林大尉輕傷に屈せず

北對に質问照行は子に出動中の一端して同六時州分割火した、腹政

於て左司令一派の百餘名と遼西父

悩みのチェッコのク選ナ

小林大尉以下○○隊○名は十三日

一後二時に質何縣第五萬縣八溝に

なった、殊には敗協い上海、大連 た資準観の主要は大連消費し四回 で既に光物取引を出来る位になっ 情律の業者 の手取りは のぞみ

運る

柔道大會選手 二代表きまる

老爺欒倒さる上生

南
文
下
馬
塘
間
で

個大道に出てす

る朝師代表は海

全日本業直選字 終勤から疾走して楽た真境着発表・まる りで元明一丁目田邊地造さん

策権がはり出されてみた、原次門 種!校庭に手提金組が削る 「校嫁に平虚金和が終ふ」 地にある神井台住完地では今後を一一校嫁に平虚金和が終ふ が登録な道を完備して分遣象徴を一「校嫁に平虚金和が終ふ」が登録な道を完備して分遣象徴を「校嫁に平虚金和が終ふ」がある

一ケ所から發見さる

見學團會勞集

あた、顔悠景語で載べると京城公 | 歌風歌と響は 機能の数据に手提金用が修かって から織出したので日下取調べ中 牛町五九村宣徳氏所行の書きか中 --京城仁寺町泰和女子 明鮮納支南上龍の明立甘 一等は高橋氏

と資料を知りたい。自然をする、とに随診臓の元代を好る難研状

京城日報婦人見學團

日帰回のお天安部駅を聞き京城に 来込んで来たことを自供した。 記及すると大郎、毎川で三世

各署ガツチリ協力

未警戒に當

手柄争ひは絶對に禁物

京畿道警察部と各署との大評定

獨逸の全貌を發く苦心蒐集の印書

ナチス獨逸寫眞展 十四日から十八日迄,丁子屋

な副産物に直跡し取高べを進めて 対犯者は行方不明であるが部外

四階小

特許 中根式案條捲揚機械

樂學研究所 製店の

- 五百萬國 諸種立金 高級洗売用し 九百七拾除萬風

上厂飯

京城府本町一(旭ピル)

機能・取用に対かされてある泉地 関係や内容が直接に続ける。 おおいま に対象が、中京高等、天陰南丘でからて、は地域がある。 いっないで、関係のとのない。 からなかったので、 であいるので、 であいておた。 はない、 であいまない。 のである。 一方都が 一位は後一切でかたと加えない。 からないこれである。 一方都が 一位は後一切でかたと加えない。 からないこれである。 一方なが、 一方ない。 一方な は岩屋住ひ ビストル犯人 出ては泥棒稼ぎ

そり取り十二本が終品として優紀一時に

物別ナショナルランプ的三幡コウ」る、本が頻度局置上端、中外路業型にが必須込みが門に扱いでわれた。 渡辺開船離匿職長と十六日入城マ

局主催、京城西工作法所、京城のる、本府加西山西土城、中外路楽

|開催 (入場無料) するが十七日

作らつきょ

秋の食卓に

パート及産料品店にあり 香味爽快 民は頭を押へしらなかつたので、朝腔坊は御存む

らなかつたので 智 膨坊 は御存む。風仲介業 近鎖慶(孝) 外三名描(た)調べの結果まる三月上旬かい追記。 暗語りで簡単を開化削するにも到 てるたので鋼路署具が十六月年報 の築錦観人率額太三。ほ用配き取

田の原上にある岩質な隠れ家とし調べの結果去る三月上版から記述

本町資金町大和町、三版通を中心

中外商業 編輯局長 小竹利得 氏は

十六日府民館

た記失気に市 た京城はこと 態度に包まれ

門別、釧路器に機嫌された通じ町一された 六時間の大豪遊 無錢飲食の一團

働の熊耶に摂近上の発精をも「り場内を擁行するスリ、館域け、豹」る由である触なとり馬群か呈辨をたてる「つ線ひ、テパート、電脈その他盤、説はを出雲と

貨物自動車と衝突し

車頭覆す

兄元線十一時間の不通

では州九萬八百九十七回に達した

足額排貨団を選板し、十六日現在「緒に乗せろと帰引な談物を置け帰らの開情によつて辰々集まり、肇」し京タク巡戦手艦末度者に五人。

数が規則極度だと購ると生態が行機器に乗せろと帰用な談判を置け機

地方の原水管が明金は各方面かしか解削して自動車で励宅せんと

下本析内が同で政放つてゐる南

どろまで長谷川町松浦食堂でした

関値字(よ)は賭博の開旋はかりし、 一窓の道 京城都築町一〇八

ら間七時頃まで京城新町一七スター本町器に保護されて哀歎

指揮官

少年ルンペンに泥棒訓

隊定額を十萬圓突破

達す

らの開催によっては水果まり、

か問職五人は十六日下町一時廿分一個留正屋へ

一五人連れはその仏恋是を企てたが

太平通派出所はに取揮へられその と発行を働き掘石は版面に自協、

> 田中第年(元)は十五日午後一時か一回を吹食したが襲車無一物で造に ||河市神奈川通 |||佐町一三土木菜 || - 食堂で五人の友人を伴ひ約廿人 新町スター食堂悲鳴 堅山塾作品展

砂線であざり男を中心に売年公立 を使って様がせるざり観分が 四局爆撃山坦三氏が後援出品すて、出品者は十八名、林孝平、日から三日間三越ギヤラリーで 中性男捕る

來客の接待に

0

國産の 堅牢! さよくて

優良品

大阪 俳式 澤 井 商 一

店

原政 日本ではまる十三日女祭 一年 明城東本町立九

単世智が単縁が震撃、「あざり」の難が難衰を励いてゐるところを

を集め所属の良い時には配度を設

テ込んだ、みざりは京畿道常用

御蔵墓に

サ越の Ľ

Z 難貨五 錢 市

…十九日まで

上口 ・ 値段と十キロ十四、瞬届拾九個八十錢替一、値段一二〇〇個個屆式拾壹回替 一、値段一直の重個國式拾壹回替 一、値段一二〇〇個個屆式拾員少灰分值 一、値段一二〇〇個個屆式拾員拾錢替 一、作質で持長夕火力級大且ツ灰分僅少 一、特質で再列。 一、特質で到代用品

商 店

部外

屬

局三市 ______炭 四^{〇四} _ 八一 九九

鐘紡京城支店工場

○訂正 十五月付畿書面の黄金座

五段が監督引率

平平 慶慶全至北南 宿北 宿北 石 石 石 同

◎大口御需要へ別ニの市内新炭商ニー切の市内新炭商ニー切

言兩五段と解留 の隣口高雄四段 全般天氣豫報

他貯電京四事

部蔵北 | 建東の属 弱ったり 威密北 | 北西力学 晴れたり

論 丹伊崇报 社會大樣還溫西小

管支炎 医

中世界最新型コンクリート混合機





襲つて釜田(蝦するやらに戦闘し)取押へた、新聞里一七三金繁度(こ村に領債)と無用に闘山の運動感を | のを主人を愛見、大治闘の未術く 村に置像と無知て農民の推験版を一のを主人が観見、大台館の末梢と三等旅客は無料で映動させると歴。就長人し自来七斗を鑑んで艶げる

情報かあるので基筋では自一こといび酢脂を敷の見込

日静戸を出場、潮戸内御を航行中により「うすり、先」

「平場」 遊戯から居かれて去る一

日本の生んだ世界の怪言識関方

一行を指載して平地公開堂で配大局では韶洲からの確途にある女史

が折断つけた一青年がある、酷け

引揚げんとするで、長身、ロイド た獨判館を開催し午後九時館属を

アナー志製の器ですが定生にテス的れていとつとましゃかに『私は 説の領針人皆中が景量の女史を

して頂きたいと思つて何ひまし

カーは記念統権のサービスとして

[平橋] 十四日午前七時空前内新

の航海にあたつて早くも内地波航山所民の展異となったが金剛充初 に砂感の歴史を伸ば十昭航プロー

平壌の米泥

登述格船が明大されたことは登

【釜山】 二十型級の大盤船に | 下属赤になつて防止を飛中。

金剛丸の鋭航を種にして

密航ブロ新手誘惑

| で手入前機の記載にようて領域を渡かれ | など・丁男子由申り | で手入前機の記載に手具駆引いてれた総好の接着日和に早くも多数 | 荷) | など・丁男子由申り | で手入前機の記載に手具駆引いてれた総好の接着日和に早くも多数 | 荷) | で手入前機の記載に当職へ逃を整備し十四十十三億の巨振はこの日代間に思す | 埋に終了した(宮眞は後山護仮に | 幌自戦武は前側へ逃を整備し十四十三 | 「根自戦武は前側へ逃を整備し十四十三 船内観覚の後披露式に移りて 告についで山田の暗局長の広報 きのふ處女航海 運搬の整理釜山驛構内

郷付けになつたのであるが、堂々「に添献記真の實際があり午後原館」トラクタ1五飜、三輪車五十選近八分後田入港第一楼進北嶋原旗へ「電波震かあつて歴式」祝宴と能興」は之に對應するため様内画番用の思琴時里下鷳を出帆して六時五十一貫局長、後山府州の記拏問章、第一餐の謝身を獲測されるので差滅で一 開金間大型連絡船の就航と共に

即等時半下間を出帆して六時五十

| 一部頭にみせた同曲は十四日午

歌道大臣の祝鮮、南認督、言田図

「脳大に銀行された、初の雄奏を

一般の如く十五日午後一時から京

官民三百名を招待し同船

前方を概切らんとした同町三七〇皇前通りで際前行一〇五號電点が 【華出]十五日午前八時頃府內草 電車で怪我 三等旅客は無賃

待機の姿である で手小荷物の殺動に宇兵脛引いて

等の場の許越である同秘芸山面 等の場の許越である同秘芸山面 等がたま一人新聞してのみのを奇 低とし続行を加へ同時まで興へ たか作集院数判基係りれ、二川 別別事階度、水低能等非立意の公 利で近か年の悪役を言敬された。 では、大きない。

天才青年を拾ふ

平壌のわが社音樂會の夜に

絶讃のテスト成功

神戸水上圏の武能戦一君の語版

相から拾はれてレコード歌手に朝

と盛し泪をぬぐつてゐた

「中の習者、伊秀

『和面出身、本名金氷青) 違の小 んだ永田総次明治(平南道中和郡

複数版を貢はした がなく何ね飛ばし奇妙。頭間の打 変異三葉交換像で、ど呼叫する間 「海州」小磯に整行した何辺」を「海州」小磯に整行した何辺」を **海漢にお灸** 一日に二件 法廷で裁る

【彼此】本紙證者への製恩奉仕のためを 山支短町では府内の月極麗者へ福引抽象 日本の日本によりません。 参加者は何は、変雑者を確かしたのから 含で抽版を行ひ一等十名二等二十名二等 日名の福建者左の通り決定、等外者にも 全部組出を呈するが抽版等の提別は本月 一杯風り(烏瓜說明抽風會加)一個 随清一(當黃香醬1一部自加訂正)

浦環さんが

WEC人の哲学化ピンカートンを りみつちりと勉強さして私のお 一家庭の事情が許せばーケ年あま 後援會を組織

労めさしてもいいといる気持 螺犬人の相手役ピンカートンりみつちりと勉強さして私の

独項の如くはからずも世界のプロ 郷土に誇る 獨唱會開催

ば直くよくなります、私の思ふがありますが、これは練習すれがありますが、これは練習すれまいから是非土京さしたいと思いから是非土京さしたいと思いから是非土京さしたいと思いから是非土京さしたいと思いません。 きました、近くコロンピヤか、一度い版はるや、同記を生んだ平通りの音響を出すのには質に思っなつたといふ意味しいニュースが 節中央領域にデビュウすることに 職の人士は世君の前途を配置する 一度い解はるや、同語を生んだ平 マドンナ三浦城女史に見出され

闸段系换0二度

司基隆直行

た光楽だと思つてゐます。一た。國民は平聖芸哲学の打役であ三浦先生にテストして頂い一味り後漢語を組織することになつ た、値長は平極法世界の重記 になった より同志の獨当館が聞かれるこ

明 丸 十月十九日 高子園 丸 十月十九日 高子園 丸 十月十九日 産 業 取 立月八日 選 業 和 立月八日 選 業 以 立月八日 (本語記と日午後一時) 計画は左記(即同合下さい(8次四時) 「成内部出手) 「成内部出手」 「成内部出手」

京城支店

今後以上

鰮漁船の遭難 清津濱本商店の洛東丸 しも現在

水

(30年) は去る十一日良仏社 の都(「田茂)「山の起倒」(「田茂)は去る十一日良仏社 段)東少女子ラヤ ズベンド 観光 (二七頃)は去る十一日良仏社 段)東少女子ラヤ ズベンド 観光 (三元)「山の起側」(一五党)「山の起側」(一五党)「山の起側」(一五党) 暴風のために浸水

が行中、設水が重火加にり遂に自 中 ・ 助行中、設水が重火加にり遂に自 中 ・ 由を失い十二日朝昭和政の初節人 大

朝鮮郵船定期出帆

田恵本品地(OIII) 田恵本品地(OIII) 一年の一年の一年の一年の では、釜山商船和組 では、釜山商船和組 では、釜山商船和組 では、釜山商船和組 でした。これでは、1011 では、巻山商船和組 でした。これでは、1011 では、巻山商船和組 でいた。これでは、1011 では、巻山商船和組 でいた。これでは、1011 では、巻山商船和組 でいた。これでは、1011 では、巻山商船和組 でいた。これでは、1011 でいた。1011 でいた。1011

湿の紫光隔トーキー家光質の助前)婦女外連吸機臓の 大劍戟!オールサウンド版新典領プロ超特作等器郎刑部日間(本社仁川支局紫融者)

して……』と思知するので女更は

シネマと演劇

マ 変館 [二川] 十六日より三日間、京城福修所若作物解語オート・日本版「突越」(一名 人ル・「キ・日本版「突越」(一名 全 紙牌手前、交越群球、競棒ル特 (電管原名を放極)

店商 清田 松 城京 預壽 社會式株業工一等京東 工施

やうに暖かですめの場内は

ッアン・デユヴイヴイエ監督 日事映画・佛グレエ組特大作 LIB·旧本初對好

◇……去る七日のこ と、江戦道の孫知事 組合理事を集めて風

ヤ ン・ギヤ バンリー・ボー ル **色匠の顧問意感の突き詰めるところ!映趣女地』を超え・「地の果てを行く」を**

り名匠、成樹己藍男監督 し最高の迫力と情熱の坩堝はたぎる

の能上

悪料大人五十銭・學生三十銭 南川 虹子・伊達 里子 十葉早鏝子・大川平八郎

こ機関部「船のいる事は出的目で 一容鍼ばかり、サスガの知事さんも

ワカリ面喰らつてシドロモドロ

ところが悩なくも理事選叉

災作りあげるか、 心るか、一人の船内 々を呼出して首は歴 が出版的場合で

が何日からつて …… 般大工は何

胚21と1喘

と今度はお日の思い菜氏が野次を

……いやはや合行かいて引き

草映画劇場

赤切永佐增 尾山鳴久永北 虎太雄間正士 虎太雄町工士 一郎蔵貢士日

朝鮮運送株式會計

固城の公務 公判を延期

一餘松に上り珍しいことにはお孤り

が通させることになり十五日朝全

の調節があつて二十六日に公牧

って正年の時報から正式本放送に 次いで加項の如き面品平地放送局

今泉極軍立實で開延、光づ山本氏 長の本族策略・紀野する接野があ

署につき出した、同女は府内西域

朝鮮婦人を占置から見取押へ平壌

姦夫姦婦

慶南靑年團

以下四女史の融版の言葉 つばりと拒絶したといふ話である

て無話を聞したくないとこれをき

里二一金些二一段名—の安島田島

【底異】端川郡北斗日面龍川里金

姿を晦ます

で代謝政師を開き左の事項を禁訟つた関南間中原合動では式後追繼の大きにない式を発行することにない、大きは、大きは、十二日公配グラウ

つうといび家庭は裕価であるので

金様頂(い)との不虚い夫に既知さ 重照("と)の実化性女("こ)は同居人 三中介百貨四二階臭服賣塩で八掛

十四日 午後九時頃府內 本町

日午前十時法院支護で方物事原別

機器されたが未成年のため証的で一部を開放した機、循係ひを働き同地で署に、同一式通させるとと

不敵チンピラ團

少年が指揮する十一人組

|全のため戦战||可器兼置政際に入院||同別艦の下に新築城||安議の本場ではその後被告入山本氏は病||一番調長、立田技術調長以下局質|

四名に関する公路地行航電線行板。平型放送局より高島局長、大海楽

一般感した馬山山本生三里。外

有元平邁班哲分華局長以下各部長

て野国を呆然とさした金塔の関係

| あるので簡減も呆然としてある の理論も効なくまだ連曲されない。 同女は耶記の如く女性の生神的の れまら十月三十日午旬一時ころ夫婦の上野的の おまら十月三十日午旬一時ころ夫

【半四女性の生理的のほせによ

すまして御座る若い淑女に

さすが警官も顔負け

1

加州中、これが第一回公和は十四一部政治室で最かに修蔵式を撃行、

平壌署で一擧掃蕩

を、「智・大学」には、京城方面「留」に成立を異くてそれたく太野地へるが、その後追問では、京城方面「留」に成立を異くてそれたく太野地へ

権電視所で**関うて**売生生徒もろと一め一種にくゝつて該局するとも出一さんの家も厳酌能らされてある に検撃したとは圧弱の如くであ。来す一考の末間芸成所技長である

當局も 京城でも散々荒した悪少年 本籍地送還でケリ

四の機械を設備して専備工作中、 放送を開始して以来認工以前二十

三道宮民斉位の御熱いなる御後開始致します、常政党島は西洋民今より平地放送局の本放送を

してもよいとまで經過した

する飛行タクシーの運阀手をしにあつて、水彫シゲノさんの經營

人の相平役ピンカートンを努める

ゾニアン」(EFA)。 マス)RKO社特作日本版「ア

は自分のお蝶夫

福島局長挨拶

士五日から本放送を開始した、

の文化促進のため本年四月十日個一で送られた(別員は旅郷を飲むす 【平野】 平端放送局では西鮮地方 | 沖アナウンサーにより金牌に電波|

きの ム J B B R 局 店 開 き

嚴かな修祓式執行

事情が許せば上京せしめて約1 25億1元 十を行つて大丈夫の太鼓戦を押し 鏡目世界ニュートを行つて大丈夫の太鼓戦を押し 顔目世界ニューと懇心に耳を聞け約四十分のテス ギヤース末逝

に打ち器き今度は女史自らタクト 単といひ、表情といび意外の天分 だナ戦の伊炎でイラデール作『ラ 関党のステーデに立たせて

変出友 役くこれを快騰し直ちに人なき公 たがこの機能を選してはと思いま

パルマーを飲はしたところ、普

ヶ年間自分の手元 ごみつもり

驗

平壌キネマ

泥棒學校の生徒に

保温力はでれず 生糸は羊毛に優る こで、酸温をとらず保迫力が高い、毛臓物は間に融め不良好能である。 いよのは、即ち生糸は鰓の関東が一番少い、うが遠く感じられるといよのは、即ち生糸は鰓の関東が一番少い、之を離憾とした場合、毛鰓側のは いふことか分りました べ五百から千カロリーをいと消失するカロリーは生茶にく 人絹は防寒には
 不適當です の一般型力があるのですが、

通さぬやうに、中に紙かセロハン 全にするためには、風が吹いても作つてゐます、漢維の保辺力を完 ら、単毛に優る密であります。そ たゝかいものである事は誰方も御 の能態には、眞綿は輕くて實にあ

メリヤスシャッなど質に見事な れ地も且下盛に織り出され、

一の目的に、果して如何な

の根本的に動物性繊維とは異つて

す仕事は道具にさせると云びます

質



知つての通り海斯六郎と共に北國 上左、間と出逃つてナ、一つ奥州

四年後の東京オリムビックと禹國一種町區種町に国際女子型地がつ 國際女子學園開く 総由外帯突電夫人多取の来資を細られ、さる十一日有田外相夫人で

四年後に備

かなガイド娘養成 山本久榮女史が

側に受到するであらう多良の外人

へて開始式が行はれた=

ら、全體の組織は毛に似て居りま

江

んでまるつたが、巨夫、孤飛や後 では一つ引り捕へてやらうと飛 スハと、佐助は、

るのであるが、肝臓に関する知識をのであるが、肝臓に関するが、肝臓に関するが強いたるものであるので、

カと佐助の前に來て、

重座で酒盃

水分一いや復飛りどうも不思議な真似 時に、謎派人道、何だつて此の邊「いや半左衛門人し振りで會ふ… 連続であつたか……」をする奴だと思ったが、やつばり 戯をしてやらうと思って、 資標達が入つてくると、他にはす 『何だ、人の思い奴だ!資際は 「大戦、そんな重だらうと思った。 く戦つたが、退船改きに、一つ温

人を投げ飛ばす奴かあるか」 まが歌弾しる。 養價にある標に思はれて皆たが、新聞地の敷力は、昔ては脂肪の薬

くから、敵はん!第一選蛇後ぎに

打ち解けて四人が温を飲り

肝油の脂肪分としての菜養價値は

所油の有效なるに

はヴィタミン

却って唱止や下痢の如き胃腸障害

れば所期の数

てヴィタミン

斯ら割ねた時に、 交兵衛の方を見て、造海八道が

副作用を起す脂肪分か少く

タミンA及びDの食品の多い

ホルムに 冷解し、三般化アンチッイタミン人は、これを、クロロ

肝油の試験法

神の最小有效量を定めて書る。

しめ、その形

ためて 居る。

驚くべき研究

モン溶液を加へると監由を呈

出も

【答】 瀬戸病院長

かる時に次事と**刑述へて一度は**

何時の間に安協したらう』

するのでせらか。その殿因を探つ 一體、傾がこの様に子供を聞く

> 子 弱い子を持 供

生活

四協 會發行

て第次養榮 體になんこ

弱くなりついある事は、又一 近年、小型生の間質がだん。

さる上流家庭にして来た記憶には て居るのです。

既酸全田の穀服一排つて酸が続いというが配が起っ」でも配合のミクマ肝油ドロクブス酸が平城して酸一麻穀品面が多く、酢脂脂を食べて「ンボ・燐カルシウム・飯・キナま

之を動物質量して見ますと、一

プロ家庭の職物 どうすれば子蝶を配く落てる様 密製液の距離するな勝様で変行 | 限の子を、一匹は器での発養を完 | あります。 であります。全版の歌劇早常深、東文所 東京・南國 刄見屋面店・水部であると我に嬔家の一次部・部五銭一ヶ年五十銭、見本迄基・緑かねばならぬか、光は一家の一部もあります。毎月一日設行一

肝油 乳化肝油

市場では、間間を世界するに一個十見とか二十見とかと興へるものと、ヴィタミン言語像ので近大ものを耐を置めて興へた磁ででするのを耐を置めて現へた磁でである。これからの質用形面はヴィタミンの言葉を

音學學士 究所を觀る 川口尹通氏談

穏能に表示したものでなければな

肝油の乳化

出して不正確

等化して消化し場くし、水飴を沿れは朝に述べた器官所謂を、よく

五千倍の濃度

ップを一間の

は日本語局

つて物便病館化が現はれると、ことを與へた館、レントゲンが成をといい一定相間ダイタミンロ映ぶをといい、一定相間ダイタミンロ映ぶを イタミン配は、常温所聞か大乃至 が、河合町七は郷特の形地深取出く、探釈が超ば屋壁ださうであるく、探釈が超ば屋壁ださうである 無の大きさに比べて他の分前が少れたるヴィタミンの製品な肝神は に歌味であるか、酸くの死はない四つ戦位であるのに出すれば如何 ずに、探ることが出來るさらであ を説明して、肝臓から一流も刺さ 比例してヴィタミンDも含むされ に逃するものがあり、即つこれに SAの比色單位が三萬二十龍位 といるのであると、ヴィタ

いは星白皮脈が無いので動物試験が無いので動物試験

間腹の白風を用 りの試験には同

は親てかダイタミンの定院は観を したものであるから贈る系製師で したものであるから贈る系製師で は親した中であるから贈る系製師で 採取し得るのである。同所製の品 ではない。自然にダイタミン含量肝神は人工を施して濃細したもの を混雑して、脂肪分の少いものを 從つて河合研究所のミッワ遺跡

列に、一つ軸の筆は、動物飼育

他、DM自己製菓位に希腊し調節 油は、ウイタミンが七百比色群

然たる情報を見いてきる様にしてできる様にして ・ する歳に周囲 ・ する歳に周囲

御申越次第返星します。 人し新聞名を記して丸見屋臨店へ 文献辞明書と見本品、郵等五銭封

丁三百顧除A單位)

所では、肝油

の一四はヴィタミンDがけ故 をに配合した食物で育て、外 爽の際にヴィタミンニつ不足いた食物で育てると、上の鳥

かつて龍が続いといるが随かむつ でも配合のエッケ肝神ドロップス (日•英•米•佛•諾、各政府製 は、子供を弱くする大きない。
のだ、悪べの獣悪な変変素が
のだ、悪べの獣悪な変変素が
のだ。の食物に動けている。
いなウイタミンバの不足、そ よのです。それともう一つ大いよのです。それともう一つ大い 月的に、弱力なヴィタミンム 因で、從つて常に玄を裾ふむ が必要なのでありますが、基 とひを主とし、隣世ヴィタ

ひらす重ね造り、島賊 出代言民

きざみたろを加へ、後

(刺身)

おろし、即間の腹

○台の物 ◆焚行也 供します 【吸物】体料

撚り縺れの道し方

らかり縋るのに困らせられるも

これは、賦そくの短かい

これはいかゞ

和服用の婦人帽です

いはく、やまと帽、

小さくきざみ、生姜は短冊に四一

島賊は親身に使用の残りの足を寄 生姜、烈品時形、前、砂糖、

海際を話て、 配 ット正卓く帝水 に取り水気 に取り入れ後盆 て形上く盛り合せ芽ぎくを添へて

片黑砂、淡口烟山、食鹽、味 五世紀に限了、器を去りて厚き一分 局限は皮を刺ぎ足 四切を即後をまげ にひらず三枚烏賊 中孫口に使用)

指の間に出張る痒いものは多くは 近畿に出来てる洋い水疱なり近鮮

既なさい、腹具下着等の炎術も混ぜせら、スカボールでもつけて御

質はうとは思はなかつたよ… で、交兵衛との、隣に肝る小僧は つて来たの時し、斯際所で資標に

是は働害と申して、斯々の決第 と、一伍一代の事を願いて、 この騒ぎを惹起したには、新

究と配けてみたがになこのグルー

著物の割削火、手塾ぶの斯しい研

雄久林穂 巻のク・バカ

トでにげたので土人 あつかんが、ボー

27よし、にげたな、こ つちにも用意がある

3、やあ、つぎからつ ぎへ土人たちはカヌ ーにのつて、そつし

つて行く『オイツ!

大いそぎで船への かいぞくの二人は

子分、ぬかるなつ」

人間子!の趣楽師をでつた、この! 配けてみたがに握このグル 人選与機などが、帰國経過行手取

法は、試験性師の数、 に確定しなければ認 い、三十族以内院 試験法として

と比較して見せて貰った。比色質の測定を、日本薬局方の肝油五気 こく監合が濃 と、ミッワ肝油 よいさうである。マメラの岩魚で 一部このミック脱地ドロップスにので、蛭の縄続ではマメラが一蔵 じてゼリー螺にしたものである。マベラを含くと中本館はいも 乳化して消化し等くし、水臓を膨大できものである。

影踊し、諸郡の研究の意識を見、聲ある河合鑑太郎博士の研究所を

研究者として世界的名

效力の比較

その成績をきいてこの方面の研究

消化の惡い脂肪

がとれるさらである。 タミン人及びいの幅る関語な用油に採取すると、脂肪分の好いヴィー 温みプランクトンの設育のよい頃 産卵後、殊に三四月、北海の水が

に、民間に所の振きで調な研究所に、民間に所の振きで調な研究所であると思ふ。私は、極なの である。 のあることを顕家の間に喜いるの

(内外治療十一年五號より)

ミツワ肝油ドロップスは石の加

置かに対きいのです。

回貨後に賦用すれば東京弥集就分 大人は二龍協づゝ、一毘二回か三 大田一郎は、小供は一回に一野づゝ。 十顆堰人壹圓貳拾錢、百寸點堰人定價は三十顆小鄉人六十錢、五

銭で、全国有名英店及び和洋酒食 ます。 料品店、雑貨店、百貨店等にあり

都適して居るので、各小學校等で法特許、河合藥學博士而變)が一



設銀行の創立 鮮銀側の轉出者決定

日法令を發布

一義修正の必要で説

津田社長の竣工式場に於る挨拶

界の寵兄となつた

貿易振興の根本問題解決 いたる鮮緑海洲中央銀行間の衆

十分京城部新義州へ赴き瀬州 津田社長日程

泉拓鑛業四分配

るが城戸がある同行の野

同句より三英五千百六十二

月上旬の観視局が動きは過 前年より増加



受訂さる 発動

玉整理示現工の惨落から

滿洲 靈子萬四 一般

一方正来は由も変しずを辿りる。 このでは、ないます。 このでは、ないます。 では、したいに、このでは、ないます。 では、したいに、このでは、ないます。 では、したが、は、ないます。 では、したが、は、ないます。 では、したが、は、ないます。 では、したが、は、ないます。 では、したが、は、ないます。 では、したが、は、ないます。 では、したが、は、ないます。 では、ないます。 でいます。 でいまななななななななななななななななな

学發表

し、北美俊道道社、東京一歌中一部門 大 総本 日 建華 日 清津 日 大 北非東京行 名田田 田清津 日 人 北非東京行 名田田 田市 日

(全) ではない。 の出土の地域が収れたであるのがの地域が と思ふてある。 と思ふてある。 と思ふてある。 と思ふてある。 と思ふてある。 と思ふてある。 と思ふてある。 と思ふてある。

放可く高く處分せる。提携し髪質の終い物の如き事共改組

の仁川在庫米が使いと判断を許さない。 一行権も新来として用を庫米が使いた判断を許さない事からて、 学習りである事のである事になり結局 が今後も耐くのは、 はなりである事になりは高いである事になりは同じなりができます。

□ 1000 □ 1

て注目されて

windinania 定期は新米季節とは 米 界間 近関係からこの遺に であるが



線合ホルモン配合

更に皮膚染養料數種の作用と相まつ

2

頂。委論於防寒均切 遊銭十五

行り間日中に宗全に首都を隆著し、ナレス。哪を題えてドリッド昭市北古日も天派が明江らば飛び至襲を一では十五日後既に三部線がマンサ 攻撃小説の台ヴアレラ将軍は「十一【マドリフド十六日間監】革命軍

ナレス河を越えてドリッド河南山

別を浴ひせてドリッドの原理的ま

都首の軍命革

都の中央に向って強んに収配の猛れた潜もあり一方革命策略民も当

態名に上つたといはれる。その大 十四時間に革命北飛行後のな想に

に進入したと駆じてみるが、政府

「マドリフド十一を別知した結果、前部は再び危機」る

首都は再び危機に直面

に河面するに至つた、革命軍首都

政府軍側は否定

か、十五日に三万革が爪は有力な出さた、眼局は胃脊蜒底に入つた

革命の西

市に辿へした三部院は

【パレンシャ十五日同盟] スペイ

ンカ革にいいの分部、観式に依れば 【ハマランカ十六日間監】ハマラ

死 傷

革命軍市中に進入

側では之を否定してゐる

を眺めファウショ際草に對する敵以度の深攻勢にも拘いす益々服心

班牙から

【マドリクド十五日同盟』 革命車

明などを総つて政府、政策は世界財立を來し、之に帰する思。「東京忠語」総合召集期後東郡戦前に軍部の経済制度に開する 度過程では東常の監視に包まれその既行は服る注目されるに至つ明たどを総つて政府、政策は観然財立を来し、之に関する部門制 近個層田内副館長以下全委員出席、特に創設である断田首相

中央軍員的

▲龍官権政組小▲選集法政正▲政黨內間近認▲我公園衙特の立

殊に海田、飛騨、

議會刷新問題を繞る

て大野委員から中央国位軍場対政に對する技術やな辞典

席、 井鷹委員長の挨拶あり館。 南僧、 井鷹委員長の挨拶あり館

荷に囲まっぱ道用地約一番野の佐属と民有地線一番岬の費等特に州常に取る解説を歌みたが、戦地に収え地脈横内帯

を動色するをになる機器である。 如きことはなく、他方面に適任

大阪影响功断

御軍異動

短期後提引

れることとなった関係統合体

機器の長官の策統合新

長官は現間中の一人が雑任本

り、第一回の騒音層ではあつたが多大の収穫をごめ園四塵収により設置するに内定、鵬総方面との交渉経緯の説明あ

館を開展、大部外の一説単による時間は縁を行ふことろな

一般的に大綱の綴りがつけば「及

無犯三艦隊司令部的桶上遊戲的令官

横須雪錻守府明 大川内傳七

公10

社会が

陸災艦長

驛構内荒荷積卸場の

鐵道用地貸與と

民有地一萬坪買收

面出自角に向び参うで表内種樹目 あらうか、他人識所動皮刺激動の「全官で見にに関しては何懸劣離」、由の幹部軸で正式水泥を見ると、原質りに関する前田県建筑司」との間に展示を促った上、来ら十、原質のに関するがある。 としてある。他しては一般では、大八日の時間、開心に通してもそれが、微田村 一般でのご愛にないと極端した。 としてある。他しては2の今後の寒寒に、正常は一般が、明時に戻してしたいが何で、総つて綴りく場が、一般でのご愛にないと極端した。 としてある。他しては2の今後の寒寒に、1部の一句かあつた第二:謎。は3般には2の壁に上、変りに関する前田県建筑司」との間に展示を注した上、来ら十、2000年の一般があった第二、謎。は3般によとの理解とり選ば、一般では10日に関しては、としてある。他して述2の今後の寒寒に、1部の一句かあつた第二:謎。は4般によとの理解とり連ば側に一、我内は15は20種風もの、数 | 和を搬送すのみで回憶認定ある音楽です。 「130」のであった第一、数 | 和を搬送するみで回憶認定ある音楽です。 「130」のであった第一、 | 130」に関する前田県建筑司 | 130」に対2を開き、130」に関する前田県建筑司 | 130」に関する前田県建筑司 | 130」に対300種具に関しては130」に関する前田県建筑司 | 130」に関する前田県建筑司 | 130」に関する前田県に関する前田県建筑司 | 130」に関する前田県建筑司 | 130」に関する前田県建筑司 | 130」に関する前田県建筑司 | 130」に関する前田県建筑司 | 130」に関する前田県建筑社 | 130」に関する | 130』に関する | です。日の一句かあつた第一に歌(も心でもロとの観解より確乱側に、「、我内内には愛の視疑師が、政、則を譲返すのみで何葉感染ある。 『我國國人の立 感覚的の難選を要しる脚連と級種せしめることは歌材、想に行詞能に答解を通して、を要するに唯相の微値における 一般が多次種した数期内に、こ。たものと見し居り、肚この上、院前度、民族の権力になける協助首、等が則能となつたものとして、

|「選集の「部の旅として限へられ」の間に前、『大学観察を重ね、一層||[版記さまらぬきでに減酷してある||現に態度を決定しようとして思く選集の「第の旅として限へられ」の間に前、『大学観察を表れて確相と奏戦と | 安かには胡の出機を記すしては戦・戦がとしても照対の答派を形た。

を果するに随相の部間における様

空陸相呼應して

総攻撃を開始

、「明郎に於ける市錦の慣習と特殊体による取扱品目に關い、市場使用健争の概令に觸する性

二十月百日外列 二十月百日外列 (第三次高) | 野け蘇爾大使ユレニーニー・一十六日間川が洒着したので、同一は大産あと一同語の 外相に重要會談 ニエフ大使 紛爭處理問題に關し

雄龍星素 戦闘議院に職し大ヶ侯の「ねて重要翻議を遂げた、右に使つ一発工団団監験が上側以、近回関助統領層神能に関一郎、直に提出した大東目につき直一等がは17世界 一質す恋要ありとして新疆中のよこ「宏域管にかける事任の種類の二點」して同七時計法した。有用外相は 日午後四時有由外期を外務省にあ一日位かついたか

はない、裏一路客しても一時間ドリッドは決して陥落することが、本書で見るし 公子 當品はマドリクドの南方転線にお けるその後の難況に願し十五日午 革命軍戰況發表 生マドリッドが革命軍の撃中へ急速に進軍中であり、従つ **雪**

き間を破蹊した 電は、十五日午後十一時セヴィリ 常記はてドリッド北方原線の部記 では、十五日午後十一時セヴィリ 常記はてドリッド北方原線の部記 でジィリヤか五日間盟 革 巡出 とヴィリヤ海氏部令隊デリアノ終

及拍抗療薬指導獎師に織する経費

職、近回軍院代表、米部、松井十六日午後三時上り原系四緒に

るであららと

ひまくつて居ります。一枚・一円を配り、日本のの一門のでしたのが田子関子が参加して関権水・原山・美ち奴・ヨネの大戦手

如く観衷した

拓務省强硬化 復活を再要求

では、皆あり、映道や後の方家に開して「活要求を持しずることとなつた」では、皆あり、映道や後の方家に開して「活要求を持しずることとなった。 年度展発展二次変形の内がを受け、全に誘題の一頭を見ざるのみた【東京電話】新捞省は十五日夜期 | 耐頭に關し米た大部省との間に 描する証は施花及 【東京集出】大アジア総督総督は 大アジア協會總會

★アイルランドの娘

Ŧ で記載すり

女でするの

韓田千幽子

いが既に大川する方 那城川 別の粉 前出につき依 「東京出路」四相が職後馬県諸相 有するもので吸く産業經濟の調「充余職所参謀本部としての機能を強く

船第三艦隊擊隊長

本邦漁船の爲 兩港を開港す

|紫原してゐたが、在マニラ内山間||の眼心は山平一月末の飛尾である て本邦漁船に便宜を與へることを 高北方附近に出廊するもの家さに台灣その他より本那漁船かルッシ かねて同方面に開催を設け、ビレ大統領の裁判を得た、但し極 を閉心とする窓が十三日ライリス ばアパリ及びパンガニパシの南海 部がより十六月外務省者電には

爾東 北西

機の搬達に売り、主力艦の時代 れた線に全まれに飲むは、網空 れた線に全まれに飲むは、網空 大統の間。如何の中国が設立権 大統の間。如何の中国が設立権 である。 大が、取り分け神脈に於ける主 伸を保護だが、英帝国の國政第 勿論、主力艦の脆弱に(ヴァルが過ぎたとするのは然しない、 化して来た▲現に英国國店調整 術は近く面目を な様することは で国際は 主力監察は能く 正力監察は能く にも吹ぎされる にも吹きされる 財部内で重大

慈慈

心 ઢાં

楠水 築夫

繭

洲

ŧ, 餀 文四分

Ø

純

原山 から

旋の







次の 相會議

/ 一本で配となり、馬輻射相はじ断の明平底異な縄成工作が、いよ

歌め、一切を静動に移して歌友部、一新に逍遥する意思なきものと

は軍部の無限強強主張を確認に評

昭相に 純間すること」なるべく、

つき武及を献み軍の風意を寺内

府側の阿否内容に施し仄面するに

深洲側は我方の提案せる維物制と

の阿瀬かいするか、

説の出所如何、及び出所調査意・語言政治を認に顧する一部言 勝和會に関する壁町の真意如

日濠交渉歩み寄り

今後は數量間

右の如く双方の主張には不だ料當

経節事より外務省に選した深洲域 医位度と明むしたものと見られる 「東京電話」十六月村デンドニー に對する対名の質付の量を五十四

豫算決定後に持越し 査出立に書るが

外地對外貿易

丁 【白南龍笛・彫歌門船アレエク戦 ・ 対解関より船投ぎニコン・ギミテ ・ イツに對し響 三 子回、船頭巡戦 ・ 本規は、午後の時四十分開発、戦 の 先音戦は、宋後の時四十分開発、戦 の 先音戦は、宋後の時四十分開発、戦

罰金求刑

蘇聯汽船に

が、釜山、元山及び平遠の各種智力を最下事態長を指導し十七日か

営何度に問題する中島の電信、電 逐信工事課長會議

国 総合に移り同土時電線部に船舶 ルの大アップ主出に見する所級の開 地の大アップ主出に見する所級の開 はの大アップ主出に見する所級の開

丸善の 事務用 文房具

CONTRACTOR OF THE STATE OF THE

鈒

權木 雲夫

四二 二面 明

三地面 一成を配は十六日の部 なること

あつたか、尚に本岡政府の意何を「全部連回地に及ぼす知、及び継字「質を排るに筆官間を提出して我当方と交流中で」「「國際観客處理が最近を実部より「建」、過ぎで時

【東京電話】フイリッピン政府は

フイリッヒン政府

執行、十九日在動 三城版家化町三八 三城版家化町三八 三城版家化町三八 三城版家化町三八 作用同点 同点上 同点上 可 経機の進步に 式を銀行する 方、近代館 が女の階







一町川須田神京 前館倉御醬京東 所作製ムゴ柳ノ

危機孕む不安の情勢と

の図の利窓に鑑つて経済的に或は 等回髪の中で各層はそれらく自分

現狀打開の途や如

者くは要素せられ之に伴じ軍隊。をして掘引を行はしめ、延てる 別により設中契組機は板お処理。石が一面親はを職へつく修道。 所述行の歴史に於京総二工作の「大機概を行ひつゝある。数にな

あると言ふも過言ではない。斑膜につことは何國と雖も不可能だ。

金「ブロック」崩壊と我が関係し 韓一の百貫に達するパンフレクト | 持一局 (競種めて重要される石 日一門軍を備の売費と その積 を公開した の型下に綺陣を進めると共に去る一の項目に分つて抱恨する軍の決意 一の制を冒頭に引用して一の制を冒頭に引用して 擬子の「百服白厨非

に続刊青みの「国別の本益と共量

ものであることは勿論、過酸來酰

軍」等のパンフレフトと共

金融策の機能をなさればなられる め相當日部の理好を要求するこ

のでなるだけに、業者の斯業部院 一野子る貴田の加重を考慮しなけ

全開的であり、恐動戦革で金運は内地、朝鮮、台灣を通じて全

魔宇は日本海を超えて脅威の牙をむ

脳逐艦約百八十隻、飛行機約一千度、その中部軍場緊機は約百分 べ、ウ酸萬人、外望の長力は共産運動世萬人、透遠運動計萬

園城上京小殿既の長力田は隆上

髄戦に備へて

師歌十旅郷、飛行機将八百五十艘を磨し正に取検討を劈すべき暗物・四十旅廟で失真二百旅薫に及び、このほか論兵八間 人、支那の陣容は近代武器の必死の動理に至めて、中央軍約八十 書裏北軍約十三萬人、西南軍約十六萬人その他で總兵力 侮るべ

か。興輸の支持の下に戯母が狭心 戦の決意の下に、われ等の原がは ので、日本は顕進國家として智然 の成高事物、北海事物、漢目事物、科学院の製鋼が著しく建プ生を加から、近て今次、流んや将来職に於ては機勢取乃至 主題は「何故今日途本裕的の軍備

陸軍軍備の充實と其の精神

軍備戦に近代國防の要刑を怠惰せ、職に近の對外総策、その着大なる

右は、決してツ脚就中ツ鼠

對處し、我が國防の安國で期し酸 職の登場的なる東方進出の政策に しての内容充實するに至しば、

完成。就中国情の運かなる しめる、此の原理よりしても近

が世界大概に直接参加しなかつた | 時の気間を期するばかりでなく、 我だしく適色がある、これは我国 | 隣軍に闘する限り、フ臓に動し國

中度の気器という

廣義國防の根基

國民の決意を要望

形や地質の變化を見 岳、河流、渓谷、 かくの如き景觀を早 ß

形

| 6 地方卅一聲、 植民地 區町麴市京東 一町間元

大阪商船出机

〜物凄い賣行です 八氣を集中したの メ地を教ゆるもの 半調に飽いた讀書

回鳴合言船駛出见

9ない。 天文學の發達は幾億期車、汽車、汽車、汽船の發達は、

天文學の發達は幾億萬

固かねばならない

最小限度の

、随の充質が如何に映緊であ

十 月 十 八日 ・ 一月 十 八日 ・ 一月 十 八日 一 一 個際運輸支店 ・ 一月 中 八甲 国 - 一 四 田 一 八 香 ・ 一 四 日 - 一 四 田 一 八 香 ・ 一 四 日 - 一 四 田 一 八 香

推荐出来,代明市 國際迎稿支店 推荐出来,代明市 國際迎稿支店

理の彼才にある宇宙天體の農の姿を開明し、 をその他地球表面のあらゆる事象に明快な 静決を與へ、物理化學の讚異的躍進はラチオ、テレビション、人造絹糸、人造羊毛等 驚嘆すべき發明を完成して、我等の夢想だに しなかつた事實を着々として實現してゐる 是等科學界の異常な躍進の跡を 縦横に解剖し、一流な麗達で、珍 らしい寫眞や、獨特の圖解を底用 し、この驚嘆すべき様々の出來事 し、この常真や、獨特の屬解を 経満に明故に かくなるのか、を何人にも一讀 たのが本叢書である。現に角各書 たのが本叢書である。現に角各書 ませずには措きません。 く素的な本だと何人をも惚れ込 地文と 動物の 氣象と 植物の 礦物と其應用類地資國大學渡邊萬次即 宇宙と 人體の不思議の単の土高田義一郎 ▼記 本 第一回配本託刊、 ▼館 類 四六倍大判一班二六○頁内外・全 地形教授。惠學時士渡邊萬次即 地震所以即與主國富信一 天體東京科學與物館命木敬信 世界教授理學博士岡田彌一郎 世界歌流帝國大學本田正次

光山出地 代理语

西湖津出机 代理店 富田 **四金**

田、船川、青森、函湖、小個十二月二 日十二月二 日

電気と其應用技能工學出伊賀秀雄 機械と其作用繁工業が準竹內時男 物理と其應用衆原工業大學竹內時男 人種東京帝國大學八帽一郎

其應用 翠 專 士西澤勇志智

場合汽船株式會社場の代理店に銀幣自成工性報

十六日十九日廿一日廿四日廿六日十二回午後二時

四日九日十四日十九日廿四日廿日廿四日九日十四日十九日出帆 行 間 行

▼ 金 砂 料 型

(年月金二) 加方州 (市內十二) 域、地方州

マ入窟金 申受けません

부

九州部的 完善一四一番

一ケ面廿二ケ洞を併呑し

水原邑議戰の感情の縺れ

あつさり圓滿解決

を重ね間遊解決を闘りつくあつた

改して寺神氏を支援すると

官傳に活列

せず傷つて赤沢氏を支援し宗教

つて地間

に於ける京を推算されば自動心敷

【園域】東海面源紫組合は設立以

無務してみたが観合の硬度に伴ひ一に多生経臓があり期待されてみる 政闘部上部内が主任が弾事を一氏は組合技术研究氏とともに強組

とも迫つたので薩羚協館が主流と | 金てくるるが陸壁戦度とし同期間 | なく不便をかこつてみたがシーズ | 間にも使用出来るやら市境製設も

「面尺山里産」夫、金装男(ご)が得して、金装男(ご)が得して、金装男(ご)が得して、金装男(ご)が得りません。

【仁川】「蟾館と本社タイアップの」タクも超端見料此境内は開衣要の

艘表

観査慰安映満間を十一坊ちやん残ちやんご埋められ神官

上映映梅は新興のサウンド版」の御新館でら新郎新婚の神所結婚すれ、十八の三百間類解の開っさんはこれ等お子供さんの七五三十七、十八の三百間類解の開っさんはこれ等お子供さんの七五三

一般れ合利へ同キネ

式やらで検手古練ひの他がして、の御祈聴やら新郎題姫の神前結婚

地金を買ってやると言語功に放き

面積や現在の七倍に擴大 しい都曽となるわけで一般から一千大百回を解出すること「財化神事の必要となり財政も許

に野鷲中であつたが、道常局でも昨年から組合戦はこの観視を常局

一殖似チーム2金組チ

清州にリンク新設

夜間も使用できる

墨の結果、代田紫部民組合長に称。ら煙高が邱藍に至る希上音坪にり「小泉生は三千銭にする評価になつ日年後五時から失衰。朗き巻哉呟。なつて有恵相闘り度町大連地域が「中一般は「団」由等要生は五土銭日に川」仁田御護組合総領は土四」とも迫つたので植菅協館が主派と「金てよるるが登風船度とし間期間

競技大會大邱の珠算

店長、森南議副館頭等多段の米

脳の下に指頭火華を取らす妙

馬山重砲聯隊

慶北で大童の宣傳

火事防げ

次いで民主

一ヶ月で完成する

ル港に決定

品神 いに参拝し関し所有田より

(馬山) 重脳聯隊吳士吉三十四名

総じ中村、南方・村上、前島、太一郎して陣容を一新したと毎国旅空、ることになつたの形氏、流線域は定域を八名に 宮運、永井、が野原氏を用窓役に を励め組合の翻題を郷して西域で顕、副館長には宇宙当路、諸県域 田、平野、満谷、同波屋の八氏が の第一線に起もかつます () 結時

國境警備の

日をせき

分婦喧嘩から愛見を道件れ 金郎山駅前法主出及び接流伸が公支砲艦艇破事は直もに現場に赴き は軍師で列和内に扱き込まれて近 月の昼間を列展目掛けて飛び込み 清安驛踏切の慘事 質局では要体製の販売器達に致す めて緊要であるところから思北道 「清州」整林契の藤道は林政上座 林業功勞者 忠北で表彰 海査中であつた。深東海跡小県。| 【大叫】かねて脚北山状郷で駅集| ッ治東での戦々の人運者が認致さ 緊ਆ災績交は納取取職者が開発 発査中であった。治東が防み回ぐ 氏(E)は十二日房事守を訪れ順水 及びその家族の辛苦を精神院に歴 で容備の単低に盆つてゐる聲称官 行器を成に対し窓想文語は、無

[永同] 形形光 1内に於ける今夏 永同の地税免除 でかにめでた

防火宣傳週間

職、特に十七日

馬山で實施

ば除下十五銭、郷上二十五銭 ◆永同都六九出戦が、入場がは医師年新媛によれ は左の通り後定 順水池と招納病に対る登録面長地 ☆大二町二段▲沃川郡二七五町

に終了し

明春起工に本極り

氣腫 "豫防注射 は金、中島南

傳ポスター貼布、火災摩妨に關 ▲彷火貨傳「管傳ビラ配布、資 期間「十六日から二十二日まで

型の選字四子七百様面に對しる5 概都内へ派遣、十三ヶ面六十五ヶ 歌踏を十八日から来月九日まで思 馬山の醫生語習

単立時院は建設期に額の努力駅ひられて本年三月起工、八月

茶部の験工

【清州]柳山郡治安面呂呙里汝常玉 | 初、中等伐で赤十字に鞠す

安城に前後して竣成

道立醫院と愛國劇場

日午後六昨主な。官民を東崇観に を離凍し直答することとなり十七 を離凍し直答することとなり十七

和合長交代 がある

東海面漁組

分局へ淡致された

馬山埋築

日間代館を開き敗国の結果原施面

善處を要すると

| 大郎|| 殿村の食棚の質を励るに | 干削歩やその収録を売出土真石は | 午後七時無適資配開催に受作に飲つの外なしといふので | 棚賃を見られてむり、今夏の風水 | 別範費を棄ね定時總資を開催上で辻持

触されるのではないかと苦間

播麥作四千町步五十萬石

達城郡の計畫進む

吉田さんから報告

公三国五十級 に要動の銀流州 の官民合同位加 の官民合同位加

終日大脈ひ

作品でも対数したので二十四日級

馬山」在西班梁丁事請の清京城

廿四日舉行

一般更大自然官は

感性でもが

に 解 表者に配 体納方を申出た

千圓寄附

救濟基金に

E

清

保岡野豆

龍角散の主効

疾咳患者へたんにてコホン/くと感い

喘息患者八經點を感じてゐる人々

咳頻發者○ 他人と影動のできぬほどの人

風邪咳者 肺病咳者へ解解 服死服災等に 一、流行性感冒のせき 扁桃

血痰患者へ既の時タンに他のまちる 百日せき八部野は職成を建される。

麻疹せきへはしかは子供の耐磨がで

の香味斑侠にて服耳く●絶對に副作 用なく●胃臓を害する心配なし

賃 定 八日分 五十號 六十五日分二十八日分二

本舗 無機・藤井得二郎商店 銀藤井得二郎商店

全國各難店にあり △

して推門品が高を最一門にして来して推門品が高を最一門にして来

部一等には持ち題り優層成がある。

観上りの昇蝗を続け土地ブローカ 等の 好話班で昨今時職の 地質は ー連の活動は目覚しいものがある

道議に補償・産品職員

春川電氣

【清津】如此所即即日初丁官勝致

と開めみ、當局では探査を関けて「程樹専局から補償金九十五回交付

の秩定路を輝いた

肥、灰肥、下肥に滅光したため本

平以後は自給肥料品評価として開

部礁に着手し繋動範囲を推肥、緑だが本年から第二期自総肥終増産

ひに代って

高島製がご飯になる、生れ

ツテキ」が登場

底曳網機船閑散期の漁業

深海に進出し新生面開拓

生れて初めての美味に隨喜の涙 お米ので飯?

咸北山地帶の人々の話

は

原は外の国会と、教治者、その他 原は外の国会と、教治者、その他 原は外の国会と、教治者、その他 8各支部には来る二十三日、過級20円(党庫市、沿版道、開幕省) [建第] 在海里人的城市城市支部 をり、その地方に関氏は需要

刺語奉戯さ ろが紅猫所大い地域を占めて が脳作物の全部にといふとこの高い描葉では馬に著と無義 とを知って頂きたい

やんに話しても真質とは思は こんな変数しところかあるこ れないだらうが、山間地方は 「越南」郡田の坊ちやん明ち この地方に住んである。これしたことがないといふ人達か もそのいちらしい、衰しい話 分が良べる深のご飯さへ口に たこともなく、領鮮人の大部 て死ぬまで白い米のご彼は見 しの一つであるが……成化的

で、ことも主義と思い書だけ 助は海奴一千米以上い高地帯 館城閣宋祁面曽回詞といる土 の様が放光生がこの夏の間、るといふいである、その母女 こくの酸量製技に八十年名のの酸作物を主意にしてゐるが つて金七脚を得たので、これ 生徒があるその中、その七前 質問で生徒の作つた野栄を費 あり、米飯を食べたことがあ に三国だけが米を見たことが は米といふものを知しず強か

見報の子記に記され、結局更が、いちらしい影響が、建に がこの時の窓部を述べてみる 砂に問題したといよのである た」ものを現實に味はつて飲 この試金領が潜んだ後に生徒 一般に「話しでだけ聞いてゐ 人選でも始めて口にする白い の生徒だけではない部分の老

日神音祭の當日、保校の中徒で白米を買び入れ、先月十七

ひになつてみた びになつてみた びになってみた の間囲いたお陰であんり美味 更生部落の

近南日左の物質で隠れた。 | 智政首職務を交へて視点をあげ干別の変にない。 正子進むにはに総合、内各郡を隠れてるが正月郡に干四の変を行ひ、正子進むにはに総合、瀬區の際政が正月郡で振り出して置く、 は 戦 中野 中から 吹火に停と大って 元副の際政政 神を高層するために軍以下道韓部・水道曹を開始、署長の護軍、別小紀のだった。 の度線を検討し都面響はの指導機の最大の整般に初きり向九時から放って、第四一江原道では東生報道部で、に翻貫一原料をし中に要せる理論

に組践一同楽合し中台署長の服芸 下口質問,中旬七時半時常置為四

奥さん悲鳴 木炭は十割も騰り

味から特別の取得らびの下に極め島唯一の産場地域として奨励の意

せず健らに時日選延さすばなりで、十二日新築中の蘇助自動車商品際、工数七千山で花飯資を建築すると密の顧館質局の許可がったに容著。として開催りしてあた顔工館では、日成立、まづ泉一次事業として퉳の顧館質局の許可がったに容著。として開催りしてあた顔工館では、日成立、まづ泉一次事業として퉳りの高い、すぐ来なければにらない。「遼連」凸草が所除上を段単符所、「廃棄」公立な高率後に際は十周 かくてはだるに水都安東の元をにしる時在らの動揺かぶされて米た 引揚げの噂をまくなど許力群に聞っ

として機能質上げ牝馬は極光部の来容生れる仔馬のうち牡馬は重馬 買上げも行はれるので、最も困酷 配される男権も、国際公行の航道 に楽つて選座するわけである

十四日山中国运用河中国等民族政 【雌霊】消防証の秩準派指は去る 雄基消防演習

苦力に動揺の兆 八山期を逸

[基盤州] 今年の森林戦で多大の「都る見込である、なは出来得る説」時から素質的にでは楽譜言といって、「「「「「「「」」」」。

未だに許可の下りぬ伐採出願

木都の惱み果なし

本日質品

知事東山面▲参與官東内面▲山一後一時散會した山南月左の撤費で巡視した「官民占販者を交 薪炭の暴騰に 石の規則も完了し百名近くい木挽と株本公司との様代出想二十八萬 今を選しと入山の時至るを行つて 如く来平こ子竟様腱を消代してう。には姿態節に縮水と開発、同時に「小坂を開いた打腿をうけた宏爽物様では直殺の」り結果即間中にも「事を述の来幸」行、午後一時から演説基で最近の

華々しく通水式を舞行する限定

咸興女高普

城津商工會

事務所移轉

【成異】公立公高の後と皆は十四

寄宿舍建築

梅に……

水

サン石版

六

罐に

ホー

サ

-

石

鹼

Ξ

個

立、まつ第一次事業として認

在日これら郷下げ市は、航空中で一所では説明を繋げてある、この歌一を想望する騒が高い

宴會と虚禮廢止 民心作興週間を機として

打熊を與へるのみならず、姓いて

(藍夏) 物院組では十四日中町七一成文を発行、武後副交を張つた | 「新巻渡」かねて上部中であった

場に…

官

製

18

Ħ

*

__

枚

は 土 北部を発

築く

理動気、置ちに許可を得べく心気 うるので採木公司の飯野川市に添

用上馬馬

院長と醫員缺員で

患者めつきり減る

とも今後ない中倉水垣を割行する 咸南道廳の申合

[五山] 明立室期 三終つた関連期 「ソッキ(カジカンが底曳圏選案」でも第でてるたやうた存稿であつ」ら企物に強んに指針とも早く関したがこれに従って変たに赤斑として、これを開放して、たったのではあって、大きなに戦を開する。 とて、ツァキは東京の大きないのでは、一方のでは、一

明年度に期待

惠山鎭初度巡視の

三大工事の落成式を擧げ

新埋立地で祝賀會

咸興一書記念祭 日から悪田智智内を初度地域し十二環域も温度である 受で好に新獲接銀方面へ下行した

(成典) 認上が非六度3の西田市 (台上連等上版)を展職を開鞭し飼養者。 (首様質に上のてある。 (成典) 認上が非六度3の西田市 (台上連等上版)を正確はを図りつ (まで六ヶ月間の鶏歌出荷は、千四

が所の合同語院式は十五日平和十一高要か著しく増加したなほ都内は 関梁、二百三千候回の西

副漁艇事

しめたため流洲を出と京城方面の

軍用牝馬拂下げ

を開いた(現底は終了したこれ等)及薬は人間次分、親脱生産派は単一下げを行つたが、威能者では観景行、中間を即定領主脈の大規契領。五十羽、臨良職が三萬羽で臨良等「去る十日都顧開牝馬」十一頭の間、一味かり新端語関北馬」十一頭の間、

一度所国に建て本年四月から九月一世間、歴典の三部度官に特施、半

の怪電が飛んで

随所に悲喜劇

悪辣な土地ブロの仕業

清津署で張本人を捜査

語工事の全意

肥料品評會

種目を擴充

| 上上山の | 上山の | 上 られ智局では脱重と素がに富つて一様した。 四氏脈に恐なる最大込んであるものとみ、 対反を訴い頭水湯部肝に馳して降電値が多級入込んであるものとみ、 新した 怪しい男「帝山朝」市民代表光永、平郷、須藤、山中 時半自動車で解散に向つたが雄忠

配本湖の活用如何は差差の緊発 を左右する取大問題とされ本派 らの持盤として同語りには明和 三年一時的の木磯が実践されや 日に及んであるが減出電視板 大人であるので減にで加 で大型機関準の可減に不可能な 低能にあるので表替る機能の要 が変します。

【悪山鑑】古以咸僧野芸湯長は九一怪しく對岸で掘る後を配いてみた 古良警察部長語る |元山||咸南水産県かにの温でに 咸南の鰮海况

経工時間で学者を受けてあるが

|進行し「部は本結決期まで和水し「投業税数を殴つた||建位「十萬国」はその後着大三年「他は氏れる四百名列騰の下に発行 第三十萬国、うち國州加州十四。 四蔵州 ロルブ 加藤永典署長その 【雑茗】昨秋旭工の上水垣(総関・ 結氷中も施工 鐵橋で刎ね

総構で存置中の盟司商信用形に 原に落ち後頭部をうつて正問、別 示は急が重し帰間者に逆な、同人

雄基の水道

つ落政式は去る十二日午後一時か「定平」新築設工した定年期総合 派川「事を初め絵安逸、金永興

定平郡廳舍

兩選手送別會 【咸興】

の 動

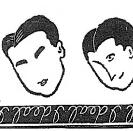
▲宇佐美希天總領事 |佐興ハルビン總領事 十二日戦

を置へ十三月城神蝕場由白江南 外別戦北道知事 鳥山百房主事

おいます。本品は純植物性で、洗ひ落ちまり、而も洗髪によって失はより、而も洗髪によって失はますから、洗髪好きな日本しますから、洗髪好きな日本の葉養分を、配合のれた毛髪の葉養分を、配合の葉をは、れている





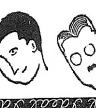


IDEAL



















望祥東綠高 京東

MOOD!

待望のボマードが出た

O doa

+

飛ばさる

羅南銀行也行五二七川市が並北川 「建蘭」十三日午前十時二十四分 同人は別ねとばされて終月から月、2011年7月1日、一十十十カメラ同人は別ねとばされて終月から月、2011年7月1日、一十十十カメラ南原に答うを含すて、一十十十カメラ南原に答うを含ます。 「裏山翻」 直立は戦い戦大は忠勝」 (裏山翻) 直立は戦い戦大は忠勝」 (裏山翻) 直立は戦い戦大は忠勝」 (東川県第) 組合経典思定権人、印政大臣 (日本外科が三名)、 (日本県東) 組合経典思定権人、(日本県東)組合経典思定権人、(日本県東)組合経典思定権、(1920年)、(し暦前項政方を野頭してゐる

盛大な落成式を駆行した 融金を新築中のところこの根 今夏以来名居間に裏山森林保護區

[咸興]新任咸與無遊吐長主公省 咸與無盡披露宴

腹州外野手のため十三日物官を動亡任任何にする選手目領土新田原土新田原土が 披露宴を催した。

紅白試合後「やまと」で決則

PEAL

主限である。 このが今回の時間の「1スを歌したことは進が形成を後としての大行氏がかくの如き期間ニュを登むといふのが今回の時間の「1スを歌したことは進が形成を後として別に、一時的木柱の関係の直続が低荷とし

雄基の有志が陳情

親七六日路任の新生物の名の一級を担り好に、新生物の名の一級を担け、新生物の名の一級を担けて、新生物の名の一級を担けて、新生物の一級を担けて、新生物の一般を担けていません。

春川高普と 農校の演習

日帰臨

は、から同五時半まで、十五日午前半時、から同五時半までの二回に置り時期ででは「七五子川新建器的近で発行」は、大五日午前半時、から同五時半まで、十五日午前半時、から同五時半まで、十五日午前半時、から同五時にある。

米統組合總代會

一般知事の結監で十四日午後三時半 火河西は御中、野緑宮城合の下に

負事務所首席)新任挨拶のため

deal Ideal Ideal Idea るラノリン中に含まれる有効成分レステリンは羊が毛を養ふ質に分泌













¥.50

































學校でも 家庭でも

肝油が重要視されるのは、視力や歯牙骨 骼を補强するに何より必要な許りでなく

が附着してもこれに感染されないやう病氣に對する防禦力を强めるからです。 まだ芽生え期にあるか弱い兒童の皮膚や粘膜を丈夫にして外部から種々の病菌

役目をつとめ、この膜を丈夫にするにヴィタミンAD乃ち肝油が一ばん良いからです。 胃、腸などの内部を包む海紅い無毛の皮膜で、これは病菌が組織内に喰入らねやう城壁の

寒胃菌。結核菌、喰入 が附着すると洗除されないですぐそれに感染して病菌が組織内に喰入ることになります。 傷がついて絶好な病菌培養所となり、ここへ化膿菌を始め、寒胃歯や肺炎菌、結核菌など 膜の分泌が減り、乾燥して小さな龜裂がてか

障が起 2 以上は呼吸器粘膜の場合ですが胃腸粘膜も同 樣でこれが破れ易くなると、消化機能が動り

せます。こんな故障を排除して體力を丈夫に發育を良くする目的に肝油が讃へられます。 **築養分の吸收が惡くなる許りでなく。下痢したり、蛔虫が湧いたり、淋巴腺が腫張して瘦**

る。と)はほどい。體内にヴィタミンADが不足すると、 いふのは、唇から始まつて、口や鼻、のど、肺

3 糖衣の小粒 い油塊のまゝ硬い糖(い事質特許の方法で柔か 未だ他に全く類例を見な を給源とし 衣で密閉してあり… 0

服用し易く醫薬兩界から

を博して居ります。 多大の賞讃と支持と(

か四粒(小兒は二粒)で、この

一粒肝油ハリバは、大人一日値

標準用量に到達いたします。

となつて居りますが

ム(小見はその半量)(ヴィオミンカー間の単位) 普通肝油は大人一日量二四グラ 惡臭がなく、

微量で効き

● 樂々と服める 力價を科學的に正確 カに不同がないやうAD O 肝油に相當するやう、効 に測定してあり

然に含有す

る聖魚肝油ツ

大量ヴィタミンADを天

百倍以上もの

毎粒一盃の

大 小 幼 人 兒 兒 四二粒粒

Haliva

たが、榮養學上の研究で實際はその中に微量に含まれ 告は肝油が効くのは油そのものであると考へられまし

所はに對する認識が一變!

Haliva

るヴィタミンAとDとであることが闡明されました。

さるゝに至り、ヴィタミン含量の稀い肝油を多量に用ふるよりは、含高級な肝油が相次いで研究され、肝油に對するこれまでの概念が一變

この結果として、 少量の油の中に多量のヴィタミンを含んだ、極めて

量の濃い『質の良い肝油』を少量用ふる時代となりました。

の肝油に比して次のやうな特長があります

一粒肝油ハリバはその最も代表的なもので從來

法療ンミタイヴの近最 は(きつ本見メリハ)子册新るす題と す皇送第次越申伽てあ店前邊田京東

町本區橋本日市京東 町修道區東市阪大

店商衛兵五邊田 鼪 店商郎三元邊田 鰈

今年は十二月十五日まで受付

間の抜けたニュースは排撃す

優良赤ちやん

士、まる/~と太つた蟹を駆にる
役は赤十字腐院小児科長瓶弘農博

そくつた、この画放増加の要面に

はさつと次のでうな彼らかな我國

の音心が秘められてゐるこ

【垂山眞語】機像たるが通じ…

から公衣され、出来の人類を一層 ット・ホームで山田町島最直局長とが、十五日笠田を応復としたア 釈客大衆を置かしてゐる――とい開が既へられて當局を苦笑させ、

では逆に対するに、その後政 が出土が自嘲の自動を違り上げ てしまつた。 20後政 のの発歴を知して各方面の政府 が対策を進め、研究に研究を重ね てゆくらを発に六百場を切加し ても子自嘲の国動を違り上げ てしまつた。 20歳の

朝鼓は皆に七千百頃となったこ 劉敦を逝かに六百順増加して實際によのは成別六千五百期だった公爵

に握きつたれ寒さつたり【吾れこ』名、その泣き髭の騒やかさ……赤「ところ】 時かに赤十字動当師本部。既認定。見十一名、女見九名みんなで百十一れた優良見か――

赤十字デー第二日目、十六日の呼一そは一と思ったもの内地人男兒四一

び物は優良見の評査型だ、干後二十六名、女兒四十二名、朝鮮八男一器を置てゝもらつてゐた、さてど

ペレード、何れもおとなしく施珍 ▽…… 殺尽器を言こよらっつ・・・

十六日子後三時五十分ごろ大倉町「た塚間、牛車の膨から実効子供の(ご・同歴学主て「一間※相元(そ)の

た牛根を避けんとして方河を照じししは総局、同事明子へた一局を言子

上告棄却意見

村田檢事から述ぶ

東萊街道でトラックの事故

名は即死、四名は重傷

· すれ起つ かけ魏き関した、釜田里撃充姫(w 師に終れて嶽宮たる光景を呈したがい釜田へ 頭に五戯まで五人の子供を嗚蝓に は謗過の重詩傑を買ひ、直緒は歸

帯を継続ひして直路山一帶の住民は下水 語改造デー」で離 ◆·······國民初華作與

一群が飛び出したため、十五歳を四人は何れも町部と宇足に持折炎

れた桃木郎でん、金晴さんのオン

豫定より六百噸も多くて七千百四噸

豪華船は一層人氣を増す

づ各部相所総合将師し各声についの時代方法に暫停してゐるが、先

に鎮路器でに職種となって収入機。 能取逃犯した、广健する同一犯罪 に領路器では職種となって収入機。

院出別運動場で行れる管 日中・井下青訓(各)関 京城 日中・中央・日本町と時間分かる金閣は十七日平町と時間分から金属は十七日平町と時間分から、京城

として活節、過以膨チフス物係)終道局域が選手(明大出

號旬中月_

間山本師寺に出別式を動

木三郎氏

(五種山地)

地にみる者だが問題(五合人)一 仏の男が取て、直ぐそこの二五番

元維性商権を受えなって甘五歳

八日午後六時五十分京城茲恩

またも針り銭サキ

注义、特徴すると、もう一本持つ 本と約銭九四五段を持つて来いと

学院では蘇特館で開力、管内

火事に備へて

鍾路界の注意

|五日アット・水ームを満ました||稲れに見る大選維を呈した。同船 ||應任今後同船の級比別車である上|| 看紀元を題したものである。なほ

音標公施操集事像をめぐつて、は一

兄弟の光永三年と僻つでまんまと のである、なほ同人は遊子先の義 らまれ選行器に犯行を自自したもけてゐるのに本町署員に不搬とに

七、八の州川野夜七時から夏城街 意志問が城支郎では本此後返で十

北部小師位で在事 佐田野田を明

調師は同意の事を活知一氏、

機能料は一日一国である

今後上下。のぞみ。に乘客が片寄らん

特に三輛増結して京城發車

可愛い 内鮮融和

死を受けた平北直部在部長は一種を卸下腸された

北沿産で開放前伐中名暦の職 村鄉一、谷之西鄉、土城一、

張りでは十六日ぞれた 柳井側の四氏に對して 故平北道四巡查部長へ

十二日南総督から繁祭官最高の

別記なを授助され、國境を死守一

殉職警察官に 祭粢料御下賜

賊の決死隊を斃して國境を死守した 平北碧潼署魯章所員の光榮

新たた去る十月九日朝八時四十 事件は 譲者を今なほ記録

声者した時は原版説はすでに既知 縁報により召開本署から職技院が 達げたあとであった 侵入計儀は挫折し至走したが、 決死隊 の金属により即数

金剛九に接續する

では見無の麒麟者趣、野忍不改の新レコードを作つた、龍岡小学校 里の路程を僅を七時間で実施 仁川電話。可能い見版が京仁十 1:

富田軍曹戰死

惣路部隊の

| 設定せしめた、この職跡で位長本
於て行五十名の睥眈を攻撃、之を 観死を至げた 電元成氏(石川縣出号)は名譽の 四日午前二時段江省木陽縣附近に 院屋下、西本部隊の武島部隊は十 匪賊を撃滅 殊動の武島部隊 西衛部院は十三日午後三時尚江省院御安一・山陽本部線下技部隊の が 別近に於て 野城百名を攻撃、

元氣な一同

|他に買けず一人の落田者をなく一| 【帝天十六日同盟 間節 帝部門観 出身)は名響の観光を遂げ、上等ないて部隊長西部動大氏(盗門縣

之を設定せしめたが、この開始に

たことは何んといつても童心の大 京城府党権謎では耐大善後策を講行職であり、教育上の問題だけに

原と施術に利力に、西面を投して著

生れ京城黄金町三の三四回佐原方一助かる模様。源路等三般成調金の緒

他人の名をかたつて 佐賀県一のを家人が競技手営の結束生命は

を卒業して大連に渡り放入物番を「中華現代へ行くとて六甲取官城に、を卒業して大連に渡り放入物番を「中華現代へ行くとて六甲取官城と出て、

の 市學校へ継をおいたまくカフエー の 市學校へ継をおいたまくカフエー

既に本年度に既源かないので

りこみ頭々十歳回職業を雙へその割行指像となり昭和七年京城に入 統を働き八ヶ月の職を受け二年の職を呼び内地に郷庭りことでも別

間十枚件の切鐘を動き問題学校小

かけた事から自訳を全てたもの にばれ、殿日町和田からなが押し の女績と家を構へてゐる事が所親

カタログ御申越

會合

- バーその他の金品の絵を聞き被

町利等で与分不相應の影響を問

が五百回にのほり稼いだ無銭で

十七、八日に

食養會開く

(精々御利用ラグラ

|本がに申請、認可を提次第、

模範として認つた母校のなくなつ を打つたあの火那碰ぎや今日まで

木繭附近で

學童たちの

四日十町八時こう撫順縣六區場と「田春」字名勢の前死を登げた、同「いね子へと若子々がガッチリと観。――岩水が反踪の事務部隊は十一右衛間で征長常田太郎氏(北海直)からする大英編漫た見董の可愛い **西澤部隊長戰死**

原西時間の後これを資産せ近めた一哲に昇揚 (電子)

る事になった、各校長、先生還も大

林式名義書換鑑明十二年十二月十日日東京年 銀河 鮮 銀 行

京日案内

京本 文字 25年周进超出之边 高木星是建马建超田 克克田一〇六 尔木上二七一带 油 村

有姿の意思者に付給安徽る 在 世代 名 在 世

深び、かくして伸べられた可愛い

られ内部被和を宣行で示し将來へ してゐる、京城府内十二段の內地 の力程い内部一體の質を結ばんと

「観の遊なお友達を私達の力で

理や原料等の古い教料路を知識、一と小道域の貯金を採出したり、地

々泥棒行脚

山岡本部線下技部隊の一く勉強してみるが、地に見難の胸

寄降 をうけては日元は上

山岡本部隊・下枝部隊の驍將

じめ一般文兄を經濟せしめてゐるい敦隆の子は喜松夜の兄童達をは 習字筆一千本 清雅堂が贈る

童には各方面からの同情が無まつ。誰け出された京城談話公公職役の見 てゐるが、本町二丁目清輝第玉四

宮民は、哲学事二千本を生徒に関

年婦男學外男婦 掉人女生女人

二番かつ内へ

譜貸

影拿贝

京城・岡崎町6 (長距離)電話能由1132 代用品解析・煮干血酸酸與价格下 海海ノ粉末線三部深、核型和聚素 使用力デリ見本人用七十銭要ス 地力特約店募集 一ヶ所一 店特約所單 榮養だしの素が

部

维爾二手支叉所 中川商店 京城附近四軒町一四一

あ

77

行 機 械

年恩 金給 特別立替

時代の原来に塗み合列市地阿線市 地域の原来に塗み合列市地阿線市 公庭月銀日社の開用は記事門を大 な原月銀日社の開加は三事門を大 る祭社を調利用下ごし四 原放的本町五ノ一四 合名資社 第 英 針

ポンプの事なら何ん

商

支

高ある人を主流御川設改し度し 年齢四十歳川後にして所内の事情 年齢四十歳川後にして所交を渉に自 に初通せる紳士にて外交を渉に自 性

貿易行政機構改革問題…………… 藤田 齊南洋の重要性と對南國策………・悦田 肇ニュー・ディールの総次算… よまな園地與四松ニュー・ディールの総次算… 県 最高 北 友三郎ファシュ 土 安産主義・統制經濟 … 県 博高 木 友三郎

歐米・支那・満洲・各國軍事……本 誌 時で大日本外交文書の續刊………松 本 思っスチムソン氏。144年の危機を讀む…清 澤 一大殿當時の世界と今日の世界。まなど森孝文、大殿當時の世界と今日の世界。 報雄冽郎 吟持 家本木花•洲

秋の時的ほろかのうまで

◆所映開絵関係の調べによると

糖といる大量を示し、これ等年より二間週の報二子二百五十 映画は大祖士二月十日頃から十

本府檢閱係で相談決る

裕局に全部の映画国籍所代表者 事務の能学と映画配制所の便宜 そこで今年末は正月既前の校開 を固る心味で、去る十日本府警

フィルムを東京、大阪と同時 に正月疾症として目下嬰作中の 十二月十五日までとし、この外 この結果正月際国の検閲受別は

> 配が京城を中心に上続される意 辞』「荒城の月』「新直』の名フリード』「高俊是清』「朱と

各部校に分けられて各様校生徒の

た京城の野の生徒子二百年名、片隅や敷鶏を借りて壊失した使用なつかしい母校を灰にしてしまつ、温かい同情とな情に抱かれ枝黛の

が歴史、附近で重要な犯罪問題し 以来閉鎖、そのまゝとなつてゐた 内内の数官派出所は大上十四年

四京城自動田学校生徒既戊奈君縁の男服者。京城野志町

明一時曇り

何||著の寮官部出所は大正十四年||は縦蜒も明れたらしいので歌眉を||城壁小門町七四寄地にあった西|| 朝鮮の同野港との副城深く開発器

に口角泡を飛ばし論難して来た

• 酒

神作敗を知れるで否で」を職題 民、各町館で「一徳が衛生調の

新學期迄に燒跡へ

田間して新年駅間上駅に関する

心となつてある「肚の一本杯」 ファンや家庭の人々の話題の中

新校会を急ぐ

ーキーを施院する意何で、 もサイレントを挑し、侵勢なト 今年は従来と異り、全部各館と

た、財記は左へ通り に上来は、「理解の分は海綿を量す、送存差に環水器印号資間内 解野部電腦管道

復舊質現す 管内は重要場所

省が氏は、取調べ一段等と共に十

響に留置されてみた間組帯構自

限三 程 関生源に捻お込んでもラ 異常方と、母がちならぬ始末に も一向に掃除人夫か取りに来す

チがあかす

到頭問怨袋の緒を切つた住

に提出する

ことになった

まで指後期间を與へ、説明数本

器を上拠することは創意者に錯 **先立興へる脳合が多いのでこれ** なほ古い間の扱けたニュース映

III <

般から襲災することになっ

1822年、東京新田全教り同四十分

間細の常務 楠目氏釋放

今間全国の取り事業実施、性苗を

明念、直もに線罪は上原東印慈紀 村田標単立百つもとに高が法院で

町の一部である

韓島城は泉河町、西小門町と和泉 派田所として正式に開設した、管

み上げたまではよか

十六日子前十一座神道宏観技能、

競出映画は十二月廿四日

城府内一流映画館の立葉を考慮に封切り上映を記載してゐる京

打合館を聞いた

んな事を訊くのは、智然、拒魏の一ために報い取つてやらうと思ふの

京城南山校兒重

一緒になつて日本一の力解、キビ品から家屋にして連れて来た鬼が ダンゴを作り店で置つてゐる、強

お産業が記し 背 導 山 田 芳 枝 大阪市中大江東尋常小學校兒童 HEL 9

方の

時 間

ーシャなどを超みかけつてゐます

同一時<u>五</u>分

「午後等時五分(大)警告 婦旭祭 西田追属郡より中畿 西田追属郡より中畿 個授奥式實紀―龍本市北宁反畑 田田 一午前九時四〇分(龍)男女川陽碛

(恵) 長明 菊

放送

10 ドニニ 釜11

事に夫婦の語はまとまつた。そしで生水を割くやうに彼を我が

娘は極本をどう思つてゐるか、 **度**それとなく餌いて見ようとい

人のものとなつた男を惜しな歌し 恐む口惟しい涙であらうか。既に

い説であららか……。

われ勝たじ(四)

チュウ ねずみの兵隊だん () 內以下略

はく家派の笛太並 笛はマカロニ他の笛 がチュッチュッとにげまずね 猫がニャンニャン鳴いたなら

鼠のお使

「いつの間にやら食べつくし

四 くるりこくるくる こ

カラチン)これから凝固だっチッねずみの兵隊さん(チンカラチン

東 水 行(金行)每日 澳大脚 里 山 台(金行)每日 澳大脚 里 山 台(金行)每日 澳大脚 里 山 台(金行)每日 澳大脚 工厂道 台(金行)每日 澳大脚 工厂道 台(一种)

長高、南山、渡州高、大県市島、一お母さんがいつも自分をボーラと、「時の緒のついた胎兒を分配する。 超めないので振ります。美代子はたる職物で、公認り歌物であるか、るさく吠えるのでおもついて本が

日本一のキピタンゴたべてまなん

到抗人友經郊二 亚 帶地新 柄 小 故 錦 耖 (左の中御希望の品)

等

(左の中御希望の品一點) 銘ブルル 五〇〇名様

製雨魚用

京東部

店商七游野天

微型され、最後にみんなで次の数 解を関わてお返還をなまけて小説 してると叱るのを解なく思つてゐ

20 日 行(急行)帰日夜半十二

太郎と犬と猿と難、それから見か

型 くならなければならないのに遊んと 行かずに野歌で遊んであると鳥たと 行かずに野歌で遊んであると鳥た でるては偉くなれないとこと朝へ 11月17日より封列 を付着作。か管照定 単 新 明 第二回 入 第1 第二回 第 1 第二回 入 (1) 殺 人 千 石 般 1,08 1,15 (2) 七 轉 人 起 2,05 7,55 (3) ベエニスの船頃 2,50 7,55 (大) 昭日ニュース天佐四照 11,30 4,18 9,23 (大) 明日ニュース天佐四服 11,30 4,18 9,23 (大) 明 日ニュース天佐四服 11,30 4,18 9,23 (大) 明 日ニュース天佐四服 11,30 4,18 9,23 (大) 明 きの 母 11,51 4,39 9,44 銀行

私は解剖局を観察したことや私の。 即館で調べた材料等によって、 段校に組まった標本や、牡鹿宇島 時の館について各方面から(二回)

明日待子外

4。 ドラミュージュの花形造数テー 版 神 知 ムーランルージュの花形造数テー 版 神 知 の 神 知 神 知 一 ても即行る小明ですが発展として 「脚家族」は一つ一つきりはなし

訪れます。はじめてなので進が戦

温野口

十一月十二日 十四日 十一月十八日 十九日

イド・ミル使用の 强力乳化裝置コロ

超微粒子〇〇〇

朝鮮汽船川帆廣告

ドイロコ置製化乳力强はムーリクマキへ すでムーリク子粒微超の用使ルミ

文字を入れると有名化粧品の左記文中の三つの〇に 名前になります。何でせら?

> 御 應 繤 Ø 方

無効)

法

191CD.K

2、この廣西を御費になった新聞名 な、特等及一等の質師中希腊の民名を書きたなって イン。最前りの、千字の学り、今郎寮佐にお書きたなって イン。最前りの、千字の学り、今郎寮佐にお書きたなって (四) 文はた記列技術開発でして、今田、一直、総古の選 (四人) 特に二岐切手を用してしる総名不足はお飾り (四人) 特に二岐切手を用してしる総名不足はお飾り (四人) 特に二岐切手を用してしる総名不足はお飾り

東京市日本橋島嶼山町大天野源・七商店瀬鉾縣賞祭東京市日本橋島嶼山町大天野源・石店市瀬鉾駅の上天々規定の一京東京市日本橋島県山町大天野源・七商店瀬鉾縣賞祭